

# JAPANESE PATENT OFFICE

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number: 09090832

(43)Date of publication of application: 04.04.1997

---

(51)Int.Cl.

G03G 21/02  
G03G 15/36

---

(21)Application number: 07241901

(71)Applicant: FUJI XEROX CO LTD

(22)Date of filing: 20.09.1995

(72)Inventor: MATSUYAMA MAKOTO

---

(54) IMAGE FORMING DEVICE

(57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To execute a suitable account with respect to a synthesized output image with which an additional image such as an advertizing image is added and synthesized in detail.

**SOLUTION:** By a margin area detection part 7, a margin area in an original image read out of an image input part 1 is detected. The advertizing image aligned with the margin area is acquired from an advertizing image holding part 4 by a control part CT, synthesized with the original image by an image synthesis part 8 and outputted from an image output part 9. On the other hand, when there is no margin area or the margin area is not desired, the original image is outputted as it is. When the instruction of the plural number of sheets is inputted by a selection instruction part CP, the number of sheets when the instructed number of sheet is one is divided by the value of the plural number of copying sheets and the integer part of the value is added to the number of synthesized output images counted by an advertizing image copying counter 11. Then, the account is properly distributed with respect to an advertiser and a utilizer based on the added value and the value of the number of sheets of all output images counted by a normal copying counter 10.

---

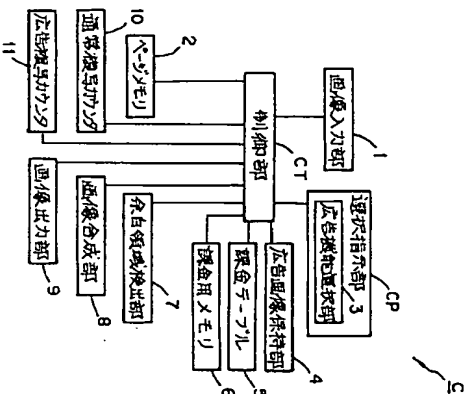
(51) Int. Cl. °		識別記号		庁内整理番号		F I		技術表示箇所	
G 0 3 G	21/02					G 0 3 G	21/00	3 9 2	
	15/36							3 8 2	
普及請求 未請求 請求項の数 3		OL						(全7頁)	

(21) 出願番号	特願平7-241901	(71) 出願人	000005496 富士ゼロックス株式会社 東京都港区赤坂二丁目17番22号
(22) 出願日	平成7年(1995)9月20日	(72) 発明者	松山 睦 神奈川県川崎市高津区坂戸3丁目2番1号 K S P R & D ビジネスパービル 土佐ゼロックス株式会社内 赤理士 木村 茂久
(74) 代理人			

## (5.1) 【発明の名称】 画像形成装置

(57) 【要約】

【問題】広告画像等の付加画像が、付加合成された合成出力画像に対する適切な課金をきめ細かく行う。

[illegible]

### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 読み取った原稿画像に付加画像を追加合  
成した合成出力画像を出力することができる画像形成装  
置において、

力画像の枚数とを計数する計数手段と、前記付加画像を追加合成した合成出力画像の枚数と全出力画像の枚数とを計数する計数手段と、

前記合成出力画像の出力態様に基づく出力態様条件に対して前記合成出力画像の枚数を変更する変更手段と、前記変更手段が計数した全出力画像の枚数と前記変更手

力が変更した合成出力画像の枚数をとるとに、前記全出力画像の使用料を前記原積画像の出力利用者側と前記付加画像の提供者側とに配分する制御手段とを具備したことを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】 前記出力態操作条件は、枚数の出力部が枚数指示された場合における合成出力画像の枚数に対応した出力条件であることを特徴とする前記請求項1記載の画像形成装置。

【請求項3】 前記出力態様条件は、合成出力画像の出力用紙に対する付加画像の面積比であることを特徴とする前記請求項1記載の画像形成装置。

### 【発明の詳細な説明】

**{100}**

【発明の属する技術分野】 本発明は、読み取られた原稿画像の出力時に生じる余白領域に広告画像等の付加画像を追加合成して出力することができる画像形成装置に関する。特に広告画像の出力態様に基づいて広告主と利用者とに適切な料金配分を行うことができる画像形成装置に関する。

【0002】

【従来の技術】近年、複写機の普及とともに、広告画像を付加画像として所望画像に追加合成して複写出力し、広告画像を付加した場合の複写料金と広告画像を付加しない場合の複写料金とを異なるものとし、複写機利用者へと広告画像提供者との双方の便宜を図ることができ複写機が注目されている。

【0003】このような広告画像を原画画像に合成出力することができる複写機としては、従来から、読み取られた原画画像に対して、物理的位置に配置された広告画像を合成して出力することができるものがある。

【0004】例えば、顧客の選択により、アラデンシカラス下部に回転可能な広告原稿を配置し、原稿スキャン時にアラデンシカラス上の原稿とアラデンシカラス下の広告原稿を同時に読取り、読み込んで合成画像を生成する装置がある（特開昭62-118362号公報参照）。

【0005】また、ネットワークを介して広告管理サーバから広告画像を読み込んで、検出された余白領域に該広告画像を合成出力する画像形成システムがある（特許第27-57769号参照）。

【00006】この画像形成システムは、各種の広告画像と種々の大きさの広告画像を予め保持し、検出された余

(2)

特開平 9-90832

白領域に適合する広告画像を選択し、この選択された広告画像を原稿画像に合成して出力するものである。

【0007】ここで、原籍画像に広告画像が付加成された出力画像が得られた場合、広告画像を含まない出力画像と異なる画像と広告画像を含む出力画像とに対する課金を異なるようにしている。すなわち、広告画像を含む出力画像に

対しては、広告主が画像出力にかかる料金を一部負担し、画像出力を行ったユーザーにかかる料金を軽減するようになっている。この場合における広告主が負担する料金の割合は、広告画像を含む全出力画像の枚数に対する広告画像を含む出力画像のみの枚数の比をもとにして配分するという単純な処理が行われている。

「10008」その他、広告面額の提供者に対する対価を算するものとしては、例えば、特開昭63-239345号3公報の面額特許授与システムがある。これは、表示面額への情報出力に関するものであるが、広告面額の提供者を示す情報提供登録部子を含む情報提供登録部、情報提供を認識しておき、ユーザによる情報の利用（表示面額への表示出力）にかかる情報量を広告された広告面額の対価に算入するものである。

**[6000]**

【発明が解決しようとする課題】 上述したように、従来の画像形成システム（特開平 7-57769号）によると、画面の画像形成システムは、全出力画像の枚数と広告画像を含む出力画像の枚数とをそれぞれ計数し、これらの計数結果をもとに全出力画像の枚数に対する広告画像を含む合成出力画像の枚数の比を算出し、この比に算出された比のみに応じて広告提供者と出力画像の利用者との利益配分を決定していた。すなわち、実際に出力された広告画像を含む出力画像の枚数のみにより利益配分が決定されていた。

【1001】例えば、図6は、全出力画像の枚数 $N$ に  
 対する広告画像を含む合成出力画像の枚数 $A$ の百分率  
 の値に対応する広告係数 $\alpha$ の関数を示している。こ  
 の百分率の区間に対応した広告係数 $\alpha$ を求め、出  
 力画像1枚の画素を $X$ とすると、利用者への料金は料  
 金を $NC \times X \times (1 - Y)$ 、広告提供者への料金は料  
 金を $NC \times X \times Y$ とする料金配分を行っていた。

【10011】し、広告画像が含まれた出力画面によって得られる広告効果は、広告画像が含まれた合成出力画面の単純な放数によって決定されるものと出直す。広告画像を含む合成出力画面の出力態様によって変化するものである。例えば、親手触数が多い合成出力画面は、多くの人間によって見られる機会が多いと考えるべきであり、この場合の広告効果は、親手触数の少ないものより大きいと言える。ここで、出力態様とは、同一の原稿画面を複数部数親手出力する場合や出力画面内に含まれる広告画像の出力画面内に占める割合あるいは配置箇所等である。

【0012】従って、広告画像を含む合成出力画像を得ることが出来る従来の画像形成装置では、出力態様を加

味した適切な媒配割がなされない場合が生ずるという問題点があった。

【0013】そこで、本発明はかかる問題点を除去し、広告画像等の付加画像の付加合成された合成出力画像に対する適切な媒配をきめ細かく行うことができる画像形成装置を提供することを目的とする。

【0014】

【問題を解決するための手段】本発明は、読み取った原稿画像に付加画像を追加合成した合成出力画像を出力することができる画像形成装置において、前記付加画像を追加合成した合成出力画像の枚数と全出力画像の枚数とを計算する計算手段と、前記合成出力画像の出力態様に基づく出力態様条件に対応して前記合成出力画像の枚数を変更する変更手段と、前記計算手段が計算した全出力画像の枚数と前記変更手段が変更した合成出力画像の枚数とをともに、前記全出力画像の使用料を前記原稿画像の出力利用者側と前記付加画像の提供側側に配分する制衡を行う制衡手段とを具備したことを特徴とする。

【0015】また、本発明における具体的出力態様条件は、枚数の出力枚数の指示された場合における合成出力画像の枚数に対応した、本発明における具体的な出力態様条件は、合成出力画像の出力用紙に対する付加画像の面積比であることを特徴とする。

【0017】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明の第1の実施の形態について説明する。

【0018】図1は、本発明の第1の実施の形態である複写機の構成を示す図である。図1において、複写機1は、画像入力部1、ペーシメモリ2、広告機能制御部3を含む選択指示部C、広告画像提供部4、媒配プログラム5、媒配メモリ6、余白領域検出部7、画像合成部8、画像出力部9、通常複写プログラム10、広告複写プログラム11、及び複写機Cの全体制御を行う制御部CTを有する。

【0019】画像入力部1は、ガラス上に載置された複写原稿の画像情報を電子データとして読み取る。

【0020】ペーシメモリ2は、画像入力部1から読み取られた画像情報をペーシ単位で保持する。

【0021】選択指示部Cは、拡大/縮小処理や複写部数等の各種処理の選択指示を行うものであり、液晶ディスプレイ等で構成され、この選択指示部C内には、広告機能制御部3を有し、広告機能制御部3は、画像入力部で読み取った画像情報とともに、広告画像を付加画像として合成出力する可否を選択する(広告機能を選択する)ものである。

【0022】広告画像保持部5は、広告画像を保持するとともに、この広告画像のサイズ情報をも保持している。

【0023】媒配プログラム6は、全出力画像の枚数に

対する広告画像を含む合成出力画像の枚数の百分率に対応した広告複写指数Yを格納するテーブルである。ここで、合成出力画像の枚数は選択指示部Cによって選択指示された出力態様に基づく制御部CTによって変更される。また、広告複写指数Yとは、広告画像を提供する広告提供者側に媒配される配分を示す指数であり、複写機Cを利用する利用者に媒配される配分は(1-Y)となる。

【0024】媒配メモリ6は、広告複写指数Yを用いて算出された広告提供者への媒配情報及び複写機Cの利用者への媒配情報が格納され、これらの媒配情報は、選択指示部Cのディスプレイに表示されるとともに、広告主への情報として保持される。また、複写機Cが図示しないネットワークを介して接続され、利用される場合、媒配情報は、ネットワークを介して所定の端末に送出されるようにしてもよい。

【0025】余白領域検出部7は、画像入力部1が読み取った画像情報内における余白領域の位置とサイズとを検出する。

【0026】画像合成部8は、画像入力部1で読み取った画像情報と広告画像保持部5に保持される広告画像とを余白領域検出部7が検出した余白領域に基づいて合成する。

【0027】画像出力部9は、ペーシメモリ2に保持されているペーシ単位の画像情報あるいは画像合成部8で合成された画像情報を読み取り、選択された出力用紙に印刷出力する。

【0028】通常複写プログラム10は、全出力画像の枚数を計算する。

【0029】広告複写プログラム11は、広告機能が選択され、広告画像が付加合成された場合における画像出力部9での合成出力画像の枚数を計算する。

【0030】次に、図2のフローチャートを参照して、複写機Cで複写機Cの出力指定があった場合における媒配制衡手段について説明する。

【0031】まず、制御部CTは、通常複写プログラム10が計算する全出力画像の枚数を示す変数NC及び広告複写プログラム11が計算する合成出力画像の枚数を示す変数ACを「0」に初期化する(ステップ101)。その後、選択指示部Cから所定の複写部数の指定入力が通知されると、制御部CTは、変数ACの値をこの複写部数の値に設定する(ステップ102)。その後、制御部CTは、選択指示部Cによって指示された内容に基づいて複写処理を行う(ステップ103)。ここで、広告機能制御部3によって広告機能が選択されている場合、制御部CTは、画像入力部1によって読み取られ、ペーシメモリ2に格納されている画像情報内の余白領域、余白領域検出部7に検出させる。余白領域検出部7は、所定のアルゴリズムによって余白領域を検出し、この検出した余白領域の位置とサイズとを算出する。そして、

制御部CTは、広告画像保持部4から、検出された余白領域のサイズに合致する広告画像を取得し、この取得された広告画像を検出した位置に合成するよう、画像合成部8に指示し、画像合成部8は、ペーシメモリ2内に格納されている画像情報に取得された広告画像を合成する処理を行う。そして、合成された合成出力画像は、画像出力部9から出力される。

【0032】さて、制御部CTは、複写処理による出力画像が、広告画像を含む合成出力画像であるかを判断する(ステップ104)。広告画像を含む合成出力画像である場合は、変数ACの値を1つ進め(ステップ105)、さらに全出力画像の枚数を示す変数NCの値を1つ進める(ステップ106)。一方、広告画像を含まない出力画像である場合は、全出力画像の枚数を示す変数NCの値を1つ進める(ステップ106)。その後、複写処理が終了しない場合は、ステップ107に移行して指示された複写処理を繰り返す。

【0033】一方、ステップ107において、指示された複写処理が終了した場合、制御部CTは、複写部数Nの値を「2」で除算し、この計算結果の整数部分を切り捨てる整数化を行い、この整数化された整数を求め(ステップ108)。その後、制御部CTは、合成出力画像の枚数ACに、整数αが示す値を加算して、合成出力画像の枚数ACを更新する(ステップ109)。そして、全出力画像の枚数NCに対する合成出力画像の枚数ACの百分率を算出し、媒配プログラム5を参照して、算出した百分率に対応する広告複写指数Yを算出し(ステップ110)、広告提供者に対する媒配情報及び複写機Cの利用者に対する媒配情報を算出し、これらの媒配情報を媒配メモリ6に格納する(ステップ111)。

【0034】このようにして媒配メモリ6に格納された媒配情報をもとに、複写機Cの利用者及び広告提供者が一時に利用する場合は、配分された媒配がその場で選択指示部C内のディスプレイに表示され、料金が徴収される。また、媒配メモリ6は、広告提供者に対する媒配情報は、広告提供者側に保持されたり、その後、媒配情報をもとに広告提供者に料金を請求される場合、図示しないネットワークに接続されて媒配を管理するサーバにそれぞれの媒配情報を送出するようにもなされる。

【0035】ここで、合成出力画像の枚数が増加する一例を示す。例えば、30枚の出力画像を出力する場合、出力画像は同じ30枚であるが、30頁の原稿を1部複写する場合、(複写部数N)/2は1/2であるから整数αは「0」となり、15頁の原稿を2部複写する場合、2/2であるから整数αは「1」となり、5頁の原稿を6部複写する場合、6/2であるから整数αは「3」となる。従って、複写部数が1部の通常複写の場合には、合成出力画像の枚数の増加はなされず、複写部数の増加に応じて合成出力画像の枚数が増加変更される。このようにして、複写部数の増加に伴う広告効果が考慮された枚数の増加変更処理がなされることにより、適切な媒配が行われる。

【0036】もちろん、上述した増加枚数を示す整数αの算出処理における「2」の値は、固定値に限定されるものではなく、複写部数の値に応じて変化させる閾値値としてもよい。

【0037】さらに、複写部数を考慮しない場合における合成出力画像の枚数Bとなる概念を導入し、上述した整数αの値を、B/C/Nの整数部分とするようにしてもよい。例えば上述した30枚の出力原稿を出力する場合、出力画像は同じ30枚であるが、30頁の原稿を1部複写する場合、(複写部数N)/2は1/2であるから整数αは「0」となり、15頁の原稿を2部複写する場合、2/15であるから整数αは「0」となり、3頁の原稿を10部複写する場合、10/3であるから整数αは「3」となり、5頁の原稿を6部複写する場合、6/5であるから整数αは「1」となる。このように、複写部数を考慮しない場合における合成出力画像の枚数Bの値を計算し、この値B/Cを加算した適切な整数αを算出することにより、適切な媒配を行うようにしてもよい。

【0038】次に、図3を参照して媒配プログラム5の格納情報について説明する。媒配プログラム5には、全出力画像の枚数NCに対する合成出力画像の枚数ACの百分率に対する広告複写指数Yの関係が格納されている。ここで、合成出力画像の枚数ACは、物理的な出力枚数に、増加枚数を加算されるため、百分率が100%を超える場合も生じ得るため、百分率が100%以上の場合における広告複写指数Yの値も格納されている。この点が図6に示す従来のものと異なる。

【0039】このようにして算出された広告複写指数Yの値をもとに次のような媒配がなされる。すなわち、広告提供者には、全出力画像の枚数(NC)×出力画像(枚当たり)の単価(X)×広告複写指数(Y)が算出され、複写機Cの利用者には、全出力画像の枚数(NC)×出力画像(枚当たり)の単価(X)×(1-広告複写指数(Y))が算出される。

【0040】次に、本発明の第2の実施の形態について説明する。

【0041】第1の実施の形態においては、複写部数を考慮して合成出力画像の枚数を変更し、これにより適切な媒配が行われるものとするものであるが、第2の実施の形態では、合成出力画像内において広告画像が示す割合を考慮した合成出力画像の枚数を変更し、これにより適切な媒配が行われるものとするものである。

【0042】第2の実施の形態の構成は図1と同様であ

るが、録金データベースには、さらに出力用紙の面積に対する広告画像の面積の百分率に対応する広告複写率 $\beta$ の関係を格納されている点が異なる。

【0043】ここで、図4のプロシーチャートを参照して、第2の実施の形態による録金制御手順について説明する。

【0044】図4において、まず制御部CTは、通常複写カウンタ10が計数する全出力画像の枚数を示す変数NC、広告複写カウンタ11が計数する合成出力画像の枚数を示す変数AC、及び変数E1、E2の値を「0」に初期化する（ステップ201）。ここで、変数E1は、広告画像の面積の累計値を示し、変数E2は、合成広告画像が出力される出力用紙の面積の累計値を示す。

【0045】その後、選択指示部CPから複写指示を受ければ、制御部CTは、合成出力画像あるいは広告画像を含まない出力画像を生成させて、画像出力部9から出力させる複写処理を行う（ステップ202）。

【0046】その後、制御部CTは、複写処理による出力画像が、広告画像を含む合成出力画像であるかを判断する（ステップ203）。広告画像を含む合成出力画像である場合は、変数ACの値を1つ進め（ステップ204）、出力された広告画像の面積の値を変数E1の値に加算するとともに、出力された用紙の面積の値を変数E2の値に加算し（ステップ205）、全出力画像の枚数NCの値を1つ進める処理（ステップ206）を行う。一方、広告画像を含まない出力画像である場合は、全出力画像の枚数を示す変数NCの値を1つ進める処理（ステップ206）を行う。その後、複写処理が終了したか否かを判断し（ステップ207）、複写処理の終了でない場合は、ステップ202に移行して指示された複写処理を繰り返す。

【0047】一方、ステップ207において、指示された複写処理が終了した場合、制御部CTは、合成出力画像が出力された用紙面積の累計値である変数E2に対する広告画像の面積の累計値である変数E1の百分率を求め、この百分率を対応する広告複写率 $\beta$ を録金データベースから取得する（ステップ208、図5）。ここで、広告複写率 $\beta$ の値は、用紙面積に対して広告画像の占める面積が大きい場合は、広告効果が高いものとして、合成出力画像の枚数を加算させる値である。その後、制御部CTは、変数ACの値を変更する（ステップ209）。そして、全出力画像の枚数NCに対する合成出力画像の枚数ACの百分率を算出し、録金データベースを参照して、算出した百分率に対応する広告複写指数 $\gamma$ を獲得し、広告提供者に対する録金情報及び複写機Cの利用者に対する録金情報を算出する（ステップ210）。そして、これらの録金情報を録金メモリ6に格納する（ステップ211）。

【0048】このようにして録金メモリ6に格納され

た録金情報をもとに、複写機Cの利用者及び広告提供者に対する料金請求がなされる。

【0049】なお、上述した第1及び第2の実施の形態においては、毎回の複写処理毎に合成出力画像に相当する枚数、例えば整数部 $\alpha$ あるいは広告複写率 $\beta$ を算出するようにしているが、定期的、例えば日、週、月毎に該整数部 $\alpha$ あるいは広告複写率 $\beta$ を求めて、適切な録金配分を行うようにしてもよい。

【0050】また、上述した第1及び第2の実施の形態を適宜組み合わせるようにしてもよい。要は、出力態様によって生じる複写指数 $\alpha$ あるいは広告画像の面積等に基づいた広告効果の変化に伴う合成出力画像の枚数が適切に変更されるようにすればよい。

【0051】

【発明の効果】以上詳細に説明したように、本発明では、計数手段が原稿画像に付加画像を追加合成した合成出力画像の枚数と全出力画像の枚数とを計数し、変更手段が、合成出力画像の出力態様に基づき出力態様条件に応じて前記合成出力画像の枚数を変更し、制御手段が、前記計数手段が計数した全出力画像の枚数と前記変更手段が変更した合成出力画像の枚数とをもち、前記付加画像の使用料を前記原稿画像の出力利用者側と前記付加画像の使用料を前記合成出力画像の使用料の費配分が出力態様に応じて適切に行われるという利点を有する。

【0052】特に、出力態様条件を、枚数の出力指数が指示された場合における合成出力画像の枚数に対応した条件とし、あるいは、合成出力画像の出力用紙に対する付加画像の面積比とすることにより、付加画像を付加した効果例えば付加画像が広告画像である場合における広告効果が考慮されて、適切な費配分がなされるという利点を有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施の形態である複写機の構成を示す図。

【図2】複写部数の出力指定があった場合における録金制御手順を示すフローチャート。

【図3】録金データベースに格納された、全出力画像枚数に対する合成出力画像枚数の百分率と広告複写指数との関係を示す図。

【図4】広告画像の面積を考慮した録金制御手順を示すフローチャート。

【図5】録金データベースに格納された、出力用紙に対する広告画像の面積百分率と広告複写率 $\beta$ との関係を示す図。

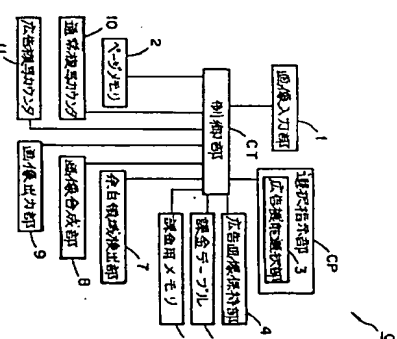
【図6】従来の全出力画像枚数に対する合成出力画像枚数の百分率と広告複写指数との関係を示す図。

【符号の説明】

C…複写機 CT…制御部 CP…選択指示部 1…面

入力部  
2…ペーシメモリ 3…広告機能選択部 4…広告画像保持部  
5…録金データベース 6…録金メモリ 7…余白領域検出部

【図1】



【図3】

(AC/NC)*100 (%)	広告複写指数( $\gamma$ )
0%~10% (未満)	0
10%~20%	0.1
20%~30%	0.2
30%~50%	0.4
50%~70%	0.5
70%~100%	0.6
100%~	0.7

【図5】

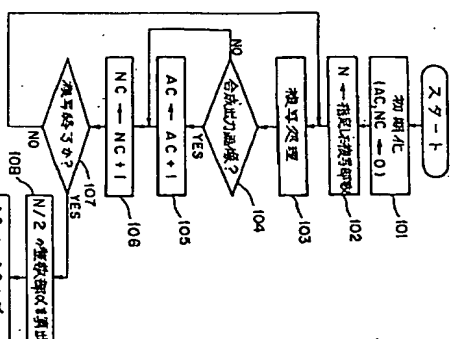
面積百分率 (広告画像の面積E1) (正出力用紙面積E2)	広告複写率 $\beta$ (%)
0%~10% (未満)	0
10%~20%	1
20%~30%	2
30%~50%	1
50%~70%	2
70%~100%	3

【図6】

(AC/NC)*100 (%)	広告複写指数( $\gamma$ )
0%~10% (未満)	0
10%~20%	0.1
20%~30%	0.2
30%~50%	0.4
50%~70%	0.5
70%~100%	0.6

部  
8…画像合成部 9…画像出力部 10…通常複写カウンタ  
11…広告複写カウンタ

【図2】



The flowchart illustrates the process of measuring blood pressure. It begins with an oval labeled 'スタート' (Start). This leads to a rectangular box 201 containing the text '初期化 (AC, NC, EI, E2 ← 0)'. From box 201, the flow proceeds to box 202, labeled '流号処理' (Flow number processing). Box 202 leads to a decision diamond 203 asking '合成圧力血像?'. If the answer is 'NO', the flow goes to box 204, labeled 'AC ← AC + 1'. If the answer is 'YES', the flow goes to box 205, labeled 'EI ← EI + 流号血像面積 (E2 ← E2 + 流号血像面積)'. Both paths from 204 and 205 lead to a decision diamond 206 asking 'NC ← NC + 1?'. If the answer is 'YES', the flow goes to box 207, labeled 'EI/E2 流号血像面積の確保' (Ensuring EI/E2 flow number image area). If the answer is 'NO', the flow goes to box 208, labeled 'AC ← AC + 1'. Both paths from 207 and 208 lead to a decision diamond 209 asking 'AC/NC 0.05 以下?'. If the answer is 'YES', the flow goes to box 210, labeled 'AC/NC 0.05 以下? 流号面積' (AC/NC 0.05 below? flow number area). If the answer is 'NO', the flow goes to box 211, labeled 'AC/NC 0.05 以下? 流号面積' (AC/NC 0.05 below? flow number area). Both paths from 210 and 211 lead to an oval labeled 'エンド' (End).